

授業科目名	博士論文課題演習 I
科目番号	0BVA201 / 02JD301
単位数	2.0単位
標準履修年次	1年次
時間割	通年集中
担当教員	木内 敦詞, 白木 仁, 本間 三和子, 長谷川 悦示, 高木 英樹, 鍋倉 賢治, 坂本 昭裕, 山本 正嘉, 前田 明, 金高 宏文, 高橋 仁大
授業概要	研究テーマを定め, それに関わる課題を設定し, それに答えるためのデータを収集し, そこから根拠を示して答える。学術論文の基本構造を理解し, 緒言, 方法, 結果, 考察において, 何をどのように書くかを学ぶ。このような研究のプロセスを体系的に経験し, 査読つき学術誌へ論文投稿を行うための準備を進めていく。この博士論文課題演習Iでは主に博士論文の研究テーマの構想, デザイン, 計画立案を軸とし, 2年次における博士論文課題演習IIでは主に投稿論文が受理されるまでの手続きを学習する。
備考	
授業形態	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「知の創成力」に関連する。
授業の到達目標 (学修成果)	(1) 意義・新規性・実現可能性を満たした研究を計画し, 遂行できる。 (2) 倫理的配慮の十分な研究計画を遂行し, 遂行できる。 (3) 論文の各構成要素で述べるべき事項を簡潔に文章化できる。
キーワード	研究構想・デザイン・計画, 研究倫理, 個人情報保護法
授業計画	<p><春学期></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究のゴールと研究プロセス 2. よい研究の条件 3. 研究の種類を選択 4. 論文の種類 5. 研究テーマの育て方 6. 研究構想, デザイン, 計画 7. 原著論文の構成 8. 背景と文献レビュー 9. 目的 10. 対象と方法 <p><秋学期></p> <ol style="list-style-type: none"> 11. 採択される研究助成申請書の書き方 12. 研究倫理に関する指針 13. データ収集 14. データ分析 15. 期待した結果が得られないとき 16. 結果の記述 17. 考察と結論の考え方・書き方 18. 共著者, 謝辞, 文献リスト 19. 論文全体の遂行と要旨 20. 論文の投稿
履修条件	特になし
成績評価方法	学術誌への執筆・投稿の状況から総合的に判断する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	下欄に示す参考文献と, 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」2014年改訂(2017年一部改正)(文部科学省, 厚生労働省), 「筑波大学体育系研究倫理委員会研究倫理審査申請の手引き」を常に手元に置いておくこと。
教材・参考文献・配布資料等	『研究の育て方: ゴールとプロセスの「見える化」』近藤克典, 医学書院, 2018 『基礎から学ぶ楽しい学会発表・論文執筆』中村好一, 医学書院, 2013 『科学の健全な発展のために—誠実な科学者の心得—』日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会編, 丸善出版, 2015
オフィスアワー	重複を避けるため、事前に連絡を取ることが望ましい。
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	特になし
他の授業科目との関連	「大学体育研究演習」と並行して受講することが望ましい。